

相模原協同病院消化器病センター

外科後期研修プログラム

【指導医】

消化器外科部長 相崎 一雄

相模原協同病院消化器病センター外科は、がん拠点病院として消化器癌の外科治療に力を注いでいます。消化器における炎症性疾患から悪性疾患まで幅広い外科治療を行っており、乳腺疾患においても乳腺専門医と連携をとり診療を行っています。

近年の手術件数は増加傾向であり、特に腹腔鏡下手術の件数は大きく増加しています。相模原市民の健康を守ることを使命とし、地域のがんセンターを目指す意気込みで、日々の臨床に取り組んでおります。

後期研修の先生方には、まずは外科専門医の取得、更なるステップとして消化器外科専門医の取得を目指して、充実したスタッフや体制のもと、外科医として研鑽して頂ければと考えております。

【主な症例数】

平成 22 年の手術件数は、852 件、ほぼ全例全身麻酔です。代表的な疾患では、胃癌 77 例、大腸癌 126 例、乳癌 83 例、肝胆膵悪性疾患 31 例、胆石症 120 例、ヘルニア 210 例、虫垂切除 111 例などです。

(後期研修医の 1 年間手術症例は下記)

【これまでの実績など】

- 1) 外科専門医資格においては既に 8 名が取得し、現在消化器外科専門医などのサブスペシャリティの取得を目指しております。
- 2) 希望があれば、国内留学、国外留学も可能です。
- 3) 学会発表や研修会には積極的に参加して頂きます。
- 4) 社会人枠での大学院への入学も可能です(既に 2 名は学位取得しています)。

主たるスケジュール

年数	研修内容
3年目	指導医のもとで手術、病棟、当直を中心に外科的修練を行います。 グループ制ではありますが、基本的には術者が主治医のスタンスであり、外来も受け持ちます。 ヘルニア、虫垂炎や胆石症の手術を行い、修練を積んだ上で大腸手術など悪性疾患へステップアップしていきます。
4年目	上記に加え、より高度な手術へと修練を重ねていきます。 週一回の研究日を設け、自分の希望する研修（内視鏡、血管造影など）を行ないます。
5年目	外科医としてさらに多くの経験を積み、外科専門医取得が一つの目標となります。

【外科後期研修医1年目（卒後4年）の1年間の手術症例】

後期研修医1年目から術者として多くの症例を経験していただきます。

通常の研修では後期研修医でも、助手としての参加が多いと思いますが、指導医のもと術者として手術に関与し、外科医として研鑽を積んでいただきます。

<術者>		<第一助手>		<第二助手>	
ヘルニア根治術	46	ヘルニア根治術	9	ヘルニア根治術	2
虫垂切除術	26	胆嚢摘出術	10	胆嚢摘出術	8
胆嚢摘出術	14	大腸癌手術	6	胃癌手術	3
痔核根治術	5	胃癌手術	2	乳癌手術	2
大腸癌手術	6	乳癌手術	4	呼吸器外科手術	4
乳癌手術	7	肝臓癌手術	1	膵臓癌手術	2
合計	104	呼吸器外科手術	6	その他	5
		その他	13	合計	26
		合計	51		

※見学希望も随時受け付けていますので若林 (m-wakabayashi@sagamiharahp.com) までご連絡ください。